別記様式第1号(第4関係)

　年　　月　　日

試用期間評定表

試用期間　：　　　　　年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日

【被評定者】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属 |  | 職名 |  |
| 職員番号 |  | 氏名 |  |

【一次評定者及び二次評定者】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 一次評定者 | 二次評定者 |
| 所属 |  |  |
| 職名 |  |  |
| 氏名(自署) |  |  |

--------------------------------------------------------------------------------------

＜評定内容＞

①　勤務状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評定項目 | 評定基準 | 評定 |
| 一次評定者 | 二次評定者 |
| イ）出勤割合 | ・【出勤割合算出対象日（※２）／要勤務日】の割合が50％以上あったか。（※２）実際に勤務した日，年次有給休暇，特別休暇，労災等休暇，育児休業及び介護休業の日数 | 可  不可 | 可 不可 |
| ロ）遅刻・早退，無断欠勤 | 次の事項を全て満たしているか。・　遅刻又は早退を繰り返していなかったか。・　無断欠勤はなかったか。 | 可不可 | 可不可 |
| （評定理由：一次評定者） |

②　勤務態度

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評定項目 | 評定基準 | 評定 |
| 一次評定者 | 二次評定者 |
| イ）規律性 | 次の事項を全て満たしているか。・　就業規則に規定されている服務規律を遵守していたか。・　自分勝手な行動で他人に迷惑をかけていなかったか。・　無断で勤務場所を長時間離れていなかったか。 | 可 不可 | 可不可 |
| ロ）協調性 | ・　自分の役割を踏まえた上で，関係者と協力し，良好な人間関係を形成していたか。 | 可不可 | 可不可 |
| （評定理由：一次評定者） |

③　業務遂行状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評定項目 | 評定基準 | 評定 |
| 一次評定者 | 二次評定者 |
| イ）知識 | ・　仕事に必要な知識を習得し，また知識の向上に努めていたか。 | 可 ・ 不可 | 可 ・ 不可 |
| ロ）責任 | ・　自らの職務遂行について，責任をもって取り組んでいたか。 | 可 ・ 不可 | 可 ・ 不可 |
| ハ）処理 | 次の事項を全て満たしているか。・　仕事を正確に処理していたか。また重大なミスやトラブルはなかったか。・　仕事の処理が遅く，頻繁に他人に迷惑をかけていなかったか。 | 可 ・ 不可 | 可 ・ 不可 |
| ニ）報告等 | ・　適宜，上司に報告・連絡・相談を行い，上司の指示に従って業務を行っていたか。 | 可 ・ 不可 | 可 ・ 不可 |
| （評定理由：一次評定者） |

--------------------------------------------------------------------------------------

◎二次評定結果

|  |  |
| --- | --- |
| 勤務成績良好の可否 | 可　・　不可 |

（勤務成績良好の可否の判断基準）

　　　　○　一次評定者の評定

　上記各評定項目（イ，ロ・・・）について，指導した場合の改善状況も含めて，「可」又は「不可」で評定を行うとともに，当該評定結果に至った理由を記載する。

○　二次評定者の評定

一次評定者が評定した結果及び評定理由を踏まえて，各評定項目について「可」又は「不可」で評定を行う。

　　　　○　二次評定（勤務成績良好の可否）

各評定項目の評定結果を基に，次の基準により二次評定（勤務成績良好の可否）を行う。

　　　　　　　・　「①勤務状況」の２個の項目のうち，１個以上「不可」があり，「②勤務態度」及び「③業務遂行状況」の６個の項目のうち，１個以上「不可」がある場合は，「勤務成績良好の可否」は「不可」とする。

　　　　　　　・　「②勤務態度」及び「③業務遂行状況」の６個の項目のうち，３個以上「不可」がある場合は，「勤務成績良好の可否」は「不可」とする。

　　　　　　　・　上記以外の評定結果については，「勤務成績良好の可否」は「可」とする。

【最終評定】

|  |  |
| --- | --- |
| 職員としての適格性の有無 | 有　・　無 |

（職員としての適格性の有無の判断基準）

○　大学が，上記二次評定結果を踏まえ，総合的に判断する。